

安達 真隆 議員（代表質問）

1 漁港及び周辺の施設などの活性化について

- （１） 滑川蒲鉾跡地について具体的な活用に向けた計画など進捗を伺う。
- （２） 他市では漁港などで、鮮魚の販売をしているが、漁師の方々と滑川市が共同で鮮魚の販売イベントなどはできないか。
- （３） 今定例会に滑川市漁民センターの指定管理が上程されている。滑川市漁民センターの現在の役割と現状を伺う。
- （４） 市長提案理由では、来年の「ほたるいか海上観光」も今年度と同様キラリン一隻で実施を予定するとある。人員確保が困難な中、対策は講じていないのか。
- （５） タラソピアの解体の時期、その後の利活用について進捗はどうか。

2 農業振興について

- （１） 産業厚生建設委員会の行政視察で新潟県弥彦村、津南町の複合農業形態について担当課職員に同行していただき学んできたが、当局の見解を聞く。
- （２） 滑川市の水稻に代わる農業（現在やっているものを除く）について考えはあるか。
- （３） 農業の担い手育成に多くの予算を付けることで、若手が参入しやすい農業にできないか。また既存農業者にも、もっと手厚い支援は考えられないか。
- （４） 近隣の自治体では基盤整備が行われ、1町田に変更が行われている。滑川市も整備の予定などないのか。

3 ゲートボール場条例廃止について

- (1) 今定例会にゲートボール場条例の廃止が提出されているが経緯を問う。
- (2) ゲートボール協会の会員が利用している状況だと思うが、施設の用途廃止について説明はしたのか。
- (3) ゲートボール場の屋根は目視では約10か所程度雨漏りしているように見受けられた。折半トタン屋根を直すことで安価に修理できるように感じるがどうか。
- (4) 利用者の用途を広げ多くの人に使える施設に変更できないか。
- (5) 隣接する滑川市ゲートボール場クラブハウスを宿泊できるようにし、また屋内ゲートボールコート4の一面はそのままゲートボール場として、もう一面3は屋内練習場「仮称KENKODOME 2」とするのはどうか。

4 児童生徒のタブレット更新について

- (1) 今定例会でタブレット予算関連総額1億4,674万円の予算が付いている。前回のタブレット端末と今回との違いを問う。
- (2) 今回のOSはシンプルな設計で動作が早いと聞く。一方ストレージ容量が少ないという情報もある。そこで重要なのはクラウドの存在だが、データが十分に保存等できるのか。
- (3) タブレット端末の納入と児童生徒が利用できる具体的なスケジュールはどうか。

岩城 晶巳 議員（代表質問）

1 令和7年度予算編成について

- (1) 現時点での最重点事業は何か。
- (2) 新規事業として何か考えているか。
- (3) 今話題の「年収103万円の壁」について、仮に非課税額を178万円に引き上げた場合、滑川市はどの程度の減収になるのか。

2 地鉄再構築問題について

- ・ 県と沿線7市町村による鉄道線への支援のあり方検討会が11月28日に初会議が開催されたが、所見を問う。
 - ア 知事は委員にならず有識者の立場で出席していたが、県はこの会には消極的なのか。県の参加なくして実現は難しいと考えるが、どうか。
 - イ 水野市長が会議で発言された「短期と中長期に分けて議論」の内容を問う。
 - ウ 自治体が施設整備費用を負担するみなし上下分離方式の場合、事業費は約600億円と試算されているが間違いないか。
 - エ もし、あいの風とやま鉄道へ移管される場合、地鉄と並行に走っている区間である滑川市の考え方は。

3 住みよい滑川を目指して

- (1) ある調査での県内の住みこちランキング2024によると、滑川市は昨年は県内3位だったが、今年は4位に下がっている。感想を問う。
- (2) 滑川市の重点事業のなかで、治水対策や急傾斜地崩壊対策が緊急を要すると考えるが、どうか。
- (3) 災害関連死の認定の審査会の設置は考えているのか。

4 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

- (1) 10月にいわゆる8回目のワクチン接種の案内が発送されたが、接種状況はどうか。
- (2) ワクチン接種の後遺症について、予防接種法上、健康被害救済に関する申請期限は設けられていないとのことだが、自治体は関係書類を5年で廃棄すると聞く。5年後以降に後遺症の症状が出て申請する場合はどうなるのか。

5 学校教育について

- (1) 通学路の危険箇所点検は10月に実施されたが状況を問う。
 - ア 危険箇所は何箇所あったのか。
 - イ 通学路の危険箇所であり、すぐ対応が必要と思うがどう考えるか。
- (2) 市内の学校に設置されている太陽光発電について
 - ア そもそも設置の目的は何か。
 - イ 稼働していない学校もあると聞くが、現状を問う。
 - ウ 学校の電気代がどの程度軽減できているのか。
 - エ 稼働していないものを今後どうするのか。
- (3) 危険な学校遊具について
 - ア 福岡県久留米市で学校遊具の腐食が原因で、児童が腰の骨を折る事故があった。滑川市では学校遊具の点検は行っているのか。
 - イ 令和5年9月議会で、ブランコなどで安全面で不安のある遊具は使用禁止の張り紙をしており、今後撤去などを考えるとの答弁だったが、その後どうなったか。

6 市民ホール建設について

- ・ ホール建設を目的とした文化会館建設基金は令和5年度末で約12億800万円となっている。現在、市民アンケートを実施しているとのことだが、今後の展望を問う。

高川 正樹 議員（一般質問）

1 SDGs 未来都市について

- (1) SDGs 未来都市に選定されて以来、様々な取組を行ってきているが、予定している事業の進捗はどうか。
- (2) 看板の設置など、目に見えて周知につながっているものも多々あるが、市民ひとりひとりが少しでも行動できるよう、更なる周知が必要ではないか。
- (3) 職員の意識の向上について、どのような対策を行っているか。
- (4) 市内企業への取組や協力について、どのような対策を行っているか。
- (5) 食品ロスについて、どのような対策を行っているか。

2 職員の姉妹都市交流について

- (1) 長野県小諸市と職員同士の交流が行われたが、その実績と参加した職員の反応はどうであったか。
- (2) 長野県小諸市との次年度以降の交流計画はどのようなになっているか。
- (3) 今後、北海道豊頃町、栃木県那須塩原市との交流は計画されているか。

3 個別避難計画の作成について

- (1) 個別避難計画の作成はどのように進めてきたか。また進捗状況はどうか。
- (2) 令和8年度までに作成が努力義務化されているが、今後の進め方はどうなるのか。
- (3) これまでのひとり暮らし高齢者登録名簿や避難行動支援見守り台帳との関係はどうなるのか。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 防災対策、とりわけトイレ対策について

- ・ 報道によると、NPO法人「日本トイレ研究所」が、地方公共団体に災害時のトイレ対策のアンケート調査を行ったという。
 - ア サンプル調査のようだが、本市への調査はあったか。
 - イ 本市では、災害時のトイレ対策はどこが統括するのか。
 - ウ 災害時のトイレ確保、管理計画はあるか。

2 生活保護について

- ・ 9月議会で、生活保護に関するホームページ、「生活保護のしおり」などの表記について質問した。
 - ア ホームページ上で一部の表現は、修正されたが、「扶養は生活保護に優先して行われる」の表現はそのままである。住民はこれで、9月答弁の主旨を汲みとれると考えているか。
 - イ 「生活保護のしおり」についても9月に指摘をした。全体として、説明・表現の見直しが必要だと思う。見直しをする考えはないか。

3 現行保険証の新規発行停止について

- ・ 12月2日から、保険証の新規発行が停止された。戸惑い、不安は強い。
 - ア 要介護高齢者、障がい者への対応について、マイナ保険証を持っていても介助なしで受診できない方はどうするのか。少なくとも、施設入所者には申請なしで、資格確認書を届けることはできないか。
 - イ マイナ保険証を持たず、75歳になり国保から後期高齢者医療へ移行する方の対応はどうなるのか。

4 水道水の「P F A S（有機フッ素化合物）」問題について

- ・ 報道では、富山県内で「P F A S」は検出されなかったとされている。本市は検査を行ったのか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 公民連携と旧市街地の活性化について

- (1) 今年度当初予算で計上されていた官民連携・実証促進事業費2,050万円の事業の進捗はどうか。
- (2) 総務文教消防委員会として静岡県熱海市、沼津市のリノベーションまちづくりを行政視察してきた。両市の特徴としてゲストハウスや公共空間の貸出等に力を入れていたが、瀬羽町から晒屋通りまでのエリアに設置しないのか。
- (3) 今定例会ではまちづくりプロジェクト事業費として、約443万円の予算を計上しているが2団体の内容と公民連携課とのシナジー効果はどのように考えているか。
- (4) 官民連携・実証促進事業の意義、将来ビジョンを再度伺う。

2 正しい「食」について

- (1) 学校給食利用補助金98万円とふるさと米づくり体験事業70万円の当初予算がついている。事業の進捗はどうか。またこの事業の意義は何か。
- (2) 先日、自然栽培米の脱穀作業および試食会が開催された。どのような内容だったのか。
- (3) 自然栽培米の基準を作り、市の新たなブランドとして打ち出さないか。
- (4) 学校給食利用補助金およびふるさと米づくり体験事業は今後、市の取組として発展させていくべきと考えるが、予算の増額は考えていないのか。

3 議会報告会の意見について

- (1) 柳原新町交差点の信号について、富山側と魚津側どちらに向かうにも青信号の時間が短い。県警に変更を求めているいただきたいがどうか。
- (2) 市内ではセイタカアワダチソウが伸び放題になっている放棄田が多く放置されている。対策は何かあるか。

吉森 真人 議員（一般質問）

1 防災について

（１） 10月27日に行われた滑川市総合防災訓練について。

ア 予定では一般参加者は150名ほどと想定されていたが、実際の参加人数はどうだったのか。また、関係団体等も含めた総勢はどのくらいになったのか伺う。

イ 内閣府は、津波や地震の場合は「原則徒歩」での避難、台風や水害の場合の自動車での移動の際は、「移動中に洪水等に見舞われることや渋滞による避難の遅れが発生するおそれがあることに留意」としている。訓練ではあるが、今回一般の方は、どのような手段で避難所に来たのか問う。

ウ ペット同行避難の訓練も対象となっていたが実際にペットを連れて来た方はいたのか。

エ ペットを同行された方の感想や、周囲の方のペットに対する反応はどうだったのか。

オ 避難所開設、受付訓練を行ったが、どこが主導で行ったのか。また、開設マニュアル等を活用したのか。

カ 災害対策本部や災害ボランティアセンターの設置訓練を行ったが、これは、市側の訓練である。県知事選挙、衆議院議員選挙の日程と被っていたが、市職員はどのくらいの人数が参加し、実態に見合った訓練となったのか。

（２） 訓練を終えた上での滑川市の防災について。

ア 各指定避難所には、想定収容人数が定められているが、極端に多くの方が避難されてきた場合は想定されているのか。また、その場合どうするのか定められているのか。

イ 災害時の移動は、「原則徒歩」となっているが、周知徹底出来ているのか。また、市として「原則徒歩」に対してどう考えているのか問う。

ウ 内閣府は、車中泊避難は「やむを得ない場合に限り」としている。しかし、実際は環境や時代の流れから車中泊をする方が多いと想像できる。滑川市として車中泊避難をどう想定しているのか。また、その対策は考えているのか問う。

エ ペット同行避難の際には、ペットの食事や道具、ゲージなどを持ってくる必要がある。同行避難を市として進めているのであれば、多くのペットオーナーにそのことを周知すべきであるが、どのようにしているのか問う。

オ ペット同伴避難場所を作るべきだと考えるが、市としての見解を伺う。

カ 滑川市に到達する津波は、地形上、第1波が最大となり、到達まで早い地点で3分程、到達地点は沿岸部から170メートルから遠くて田中町の380メートル地点までとなっている。線路はもちろん市道滑川富山線（ふれあい通り）を超えないと想定されているが、今回の能登半島地震の結果を踏まえて、この見解は正しいと言えるのか。修正点はないのか伺う。

キ 津波は、川を遡り、そこからあふれて被害をもたらす危険性がある。まちなかを流れる、中川放水路、中川、沖田川放水路での、津波の遡りは想定されているのか、また安全なのかを問う。

ク 指定避難所の1つである滑川市総合体育センターだが、現在改修工事が行われている。今、災害が起きた場合、近隣住民はどこに避難すべきなのか。また、その案内はなされているのか。

ケ 6月補正で可決された防災対策推進費の1つの、指定避難所24箇所へのスマートロック式キーボックスの設置は完了しているのか。また、どのように利用するのか伺う。

コ 同じく防災対策推進費の1つである指定避難所全44箇所への避難所開設ボックスの配備はどうなっているのか。

サ 避難所開設ボックスに入れるマニュアルには、今回の総合防災訓練で学んだことが盛り込まれているのか。また、内閣府が「避難所の質の向上」を考えると、参考にすべき国際基準だと言っている、「スフィア基準」の内容が盛り込まれているのかを問う。

2 HPVワクチン接種について

(1) 厚生労働省のホームページによるとHPVワクチンのキャッチアップ接種において「今夏以降の大幅な需要増により、HPVワクチンの接種を希望しても受けられなかった方がいる状況等を踏まえ、2025年3月末までに接種を開始した方が、全3回の接種を公費で完了できるよう、国の審議会で検討している」とある。条件付きで期間が1年間延長される見込みであるが、滑川市としての見解と今後の方針を問う。

(2) 前定例会においても伺ったが男性に対しての有効性の周知と、本市が男性の定期接種もしくは接種に対しての助成を行うべきと考える。本年度から助成している他自治体が増えており、また、来年度予算へ盛り込む予定の自治体もある中、本市の見解を再度問う。

水橋 真治 議員（一般質問）

1 台湾との交流について

- (1) 2019年7月、本市は台湾台北市の台湾美食展に出展したが、今後も台湾に出展する予定はあるのか。
- (2) 観光・文化・スポーツ・教育や防災等、どのような分野で本市と台湾との関係を築いていけると考えているか。
- (3) 日本と台湾は、正式な国交はないが、地域間での交流は中国の外交文書でも保障されている内容である。本市として台湾との友好都市提携を進めていくことについて、見解を伺う。
- (4) 市長は、台湾をどのように位置付け、本市との関係の重要性をどのように捉えているか。

2 公民連携事業について

- (1) 受託業者による再生調査として空き家、空き店舗等の不動産所有者に対する意識調査、公共施設構造点検調査とランドスケープビジョンの作成、民間投資につなげる基本計画の策定はどこまで進んでいるのか。
- (2) 本市の旧町部エリアまちづくり構想の重点は何か。
- (3) 事業を遂行するための民間人材の発掘、育成について伺う。
- (4) 都市経営プロフェッショナルスクール北陸富山キャンパスへの市職員派遣について伺う。

3 防災について

- (1) 市内117の町内会、109の自主防災組織があるが、1月から11月までに防災講座等の開催要請は何件あったのか。また、どのような内容で行われたのか。

- (2) 県や他自治体のペット避難の基準や運用の参考、さらに、市総合防災訓練でのペット同行避難訓練に基づいて、本市のペット同行避難についてどのように進められているか。
- (3) 災害発生時の市社会福祉協議会が行う災害ボランティアセンター設置、ボランティア募集のアプリの導入について、どのように進められているか。
- (4) 本市河川の増水による災害対策はどのように行われているか。

4 教育について

- (1) 児童生徒用と教員用のタブレット端末の更新は、どのように進める予定か。
- (2) 各小中学校のタブレット端末の動作環境は、正常に動作するか。
- (3) 情報倫理、情報モラル、情報セキュリティ教育は、どのように行われているか。
- (4) 校内教育支援センターを設置する学校を増やす予定はあるのか。
- (5) 市内小中学校で体育の授業や部活動の猛暑対策として体育館に空調設備を設置してはどうか伺う。

谷崎 潤一 議員（一般質問）

1 サテライトオフィス誘致事業について

- ・ サテライトオフィス誘致事業は創業支援事業と類似点もあると考えられるが、事業を集約することはできないのか伺う。

2 子育て支援について

- (1) 公立保育所の看護師と保育士の増員と環境改善は急務であると考えられるが、今後当市は、増員や環境改善を検討していくのか伺う。
- (2) 子育て支援として、保育料と副食費の完全無償化はできないのか伺う。

3 ごみ問題について

- (1) 無くならないごみの不法投棄などの問題解決策は急務と思われるがどうか。
- (2) 河川や海岸線のごみの漂着などの問題を市としては今後どう解決していくのか。またどう啓発していくのか伺う。

4 職員採用について

- ・ 滑川市出身のスポーツや芸術などで一定以上の成果を上げた人材の積極的な採用は検討できないのか伺う。

5 滑川市内小中学校における熱中症対策について

- ・ 令和6年度の熱中症対策の成果を伺う。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 慶応大学生の意見について

- (1) 慶応大学の学生がゼミの一環で滑川市を訪問されたと聞いている。各拠点がどのような印象だったのか、今後滑川市はどのような点を取り入れていくのか伺う。
- (2) ほたるいかミュージアムの感想はどうであったか。
- (3) 東福寺野自然公園一帯の感想はどうであったか。

2 東福寺野自然公園について

- ・ 9月議会ではリニューアルに向けて準備を進めたいとの答弁だった。どのようなリニューアルで、また、公民連携は模索しているのか。サウディング型市場調査の中から、事業検討当初の事業発案の段階から入るのか。具体的な事業化の検討については、どのような形で進めるのか伺う。
 - ア 滑川市が描く東福寺野自然公園一帯の青写真は考えてあるのか。例えば山のオートキャンプ場、ソリで滑る草スキー、キッズサイクルスポーツ広場、スケートボード練習コース、室内遊び場などを設けてリニューアルするのか。
 - イ 既にいくつかのコンサルタント会社に打診してあるのか。
 - ウ お金をかけてリニューアルするのか、お金をかけないでリニューアルするのか、どちらか。

3 子育て応援について

- ・ 市長提案理由説明の「子どもの成長には、主体性を育むことが非常に重要とされており、市内幼児教育施設において、子どもが興味関心を持ったことを、自らの思いや考えで遊びを楽しみ、発展させることができるよう、保育士等が子どもの思いを汲み取って材料や道具を準備するなど、日々、保育環境を整えながら子ども主体の保育に取り組んでいるところである」を踏まえて問う。

- ア 幼児教育には教科書がないため、人生の根幹を育てる幼児期は、市長が考える教育のとおりだと思う。今後市内全域の幼児施設に浸透させる考えはあるのか、あればどのような手法か。
- イ 幼児教育の指導主事を採用し、幼児施設への派遣事業を考えてはどうか。
- ウ 万年保育士不足に対応するため、滑川市保育士バンクの設立はできないか。

4 常設資源物ステーションについて

- ・ SDGs を考えたとき、町内会の資源物ステーションとは違い、決められた曜日ではなく、一定量たまったときに24時間いつでも持ち込めるステーションを市が設置してはどうか。

原 明 議員（一般質問）

1 農業の振興について

- (1) 令和6年産水稻の品質と収穫量について
- (2) 「富富富」種もみ購入費助成事業への申請が12月1日から始まったが、「富富富」への切り替え状況を伺う。
- (3) 深層水トマトの栽培量と販売状況を伺う。
- (4) 滑川産農作物のブランド化に向けた取組について伺う。

2 ほたるいかミュージアムの整備について

- (1) ミュージアム内にエレベーターの設置を望む観光客や光彩を利用する利用者の声を聞くが、当局の見解を伺う。
- (2) 廃止された足湯施設の活用を検討されているのか伺う。

3 なめりかわランタンまつりについて

- (1) 今年で15回開催されたランタンまつりに、市はどのように関わってきたのか。また今後のまつり開催への見解を伺う。
- (2) ランタンまつりを企画、運営する実行委員会が構成されているが、市も構成委員として実行委員会に入るべきと思うが見解を伺う。
- (3) ランタンまつり開催に伴う市の支援について見解を伺う。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について

- (1) 認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深める取組の推進について。
- (2) 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードの普及について。
- (3) 地域における認知症ピアサポート環境の整備について。
- (4) 認知症の人の行方不明対策の強化について。
- (5) 認知症施策推進基本計画の策定について。

2 学校施設について

- (1) 体育館へのエアコン設置について。
 - ア 令和6年度の文部科学省の「空調設備整備臨時特例交付金（仮称）」の活用を検討してはどうか。
 - イ 総務省の緊急防災・減災事業債の活用を検討してはどうか。
- (2) 学校のプールについて。
 - ア 今後のプールの在り方を検討すべきではないか。
 - イ 水泳授業の民間委託を検討してはどうか。

3 軟骨伝導イヤホンについて

- ・ 聴力が低下している来庁者に対し、大きな声を出さなくても音声が入りに伝えることができる軟骨伝導イヤホンを市役所窓口を設置してはどうか。